

## 北上市空き家対策事業に係る協定を締結

北上市空き家対策事業に係る協定締結式は7月29日、本庁舎で行われました。

式では初めに市と(一社)岩手県宅地建物取引業協会が「北上市空き家バンク事業の媒介業務に関する協定」を締結。その後、岩手県司法書士会、岩手県土地家屋調査士会、(一社)岩手県宅地建物取引業協会北上支部、(一社)岩手県建築士事務所協会北上支部、(社)福北上市社会福祉協議会と市の6団体で「北上市空き家対策事業における連携協定」を結びました。行政・不動産・法務・建築・福祉の各分野の専門知識と人材を集約して空き家の所有者が抱える諸課題に対応する相談体制を構築し、空き家の市場への再供給やその他利活用の促進、除却を推進することを目的としています。

今後は行政相談や専門相談などの相談窓口を設置し、初期相談サポーターの養成や空き家バンクの運営、利用促進、専門相談員の派遣などを行っていく予定です。



北上市空き家対策事業に係る協定を締結した各団体の皆さん

## 北上市地域おこし協力隊

### 高橋さんへ委嘱状交付

北上市地域おこし協力隊に就任した高橋裕子さん(36歳)への委嘱状交付は1日、本庁舎で行われました。

高橋さんは「北上市観光まちづくりプロジェクト」の隊員に委嘱され、市に関わる商品開発や既存商品のイメージアップなどモノづくりに関わる事業を行っていく予定です。市の出身で東北芸術工科大、同大学院を経て都内で生活雑貨のデザインやインテリア

メーカーで商品の開発、仕入担当として勤務。その経験を生かし、(一社)北上観光コンベンション協会と協働事業を行い観光素材などをPRしながら財政基盤の強化に努めます。委嘱式で「贈り物などこそぞというときに北上の製品を使ってもらえるようにしたい」と意欲を述べました。

高橋さんへの同隊の委嘱で、予定していた「北上市観光まちづくりプロジェクト」



時光社長に記念品を渡す高橋市長

し仮操業を開始。業務拡大のための人材の確保が期待できることから今回の移転拡張となりました。現在24人の従業員を今後は100人体制へ増員を計画。年間5〜10人程度の採用を予定しています。新社屋は総設備投資計画額約8500万円。事業所敷地面積は3922平方メートルで29年5月の操業を目指しています。

時期は未定ですが2次拡張も予定しています。

## 河西テクノ株式会社と企業立地調印

河西テクノ(株)(神奈川県高座郡寒川町、時光純雄代表取締役社長)はオフィスアルカディア・北上への移転を決定し7月27日、本庁舎で立地調印式が行われました。

同社は自動車の内装トリム等の設計を手がけており、国内外の自動車メーカーと取り引きを行っています。平成22年、村崎野に岩手分室を設置



高橋市長から委嘱状を手渡される高橋さん

## 市内の避難者状況

(7月31日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(0)	11(0)	22(0)	15(-2)	8(0)
人数	4(0)	22(0)	36(0)	28(-3)	13(0)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	8(0)	9(0)	9(0)	84(-2)	
人数	10(0)	15(0)	19(0)	147(-3)	

※( )は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

の3人と「夏油高原エリア活性化プロジェクト」の一組2人、計5人の着任が完了。それぞれ個別に事業を行いながら相互に連携をとり、市のプロジェクトを推進していきます。

# 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 北上市炬火名決定

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会北上市炬火名発表セレモニーは4日、本庁舎で行われ北上市の炬火名が「桜咲く 鬼すむ誇り 希望の火」に決定しました。式には関係者と最優秀賞を受賞した小原裕美子さん、優秀賞を受賞した高橋穂子さんが出席。受賞作品と作者が紹介され、賞状が授与されました。

応募作品は合計48点。その中から最優秀賞1点、優秀賞2点を決定しました。「桜のやさしさに包まれ、鬼の里としての誇りを持ち、希望を胸に躍動するように」と命名された最優秀賞作品。聞いただけで北上のことがわかるという高い評価を受け、小原さんの作品が最優秀賞に選ばれました。市の炬火は希望郷いわて国体の開会式で県内32市町村の炬火とひとつになり、岩手県の炬火として同国体・同大会を見守ります。

**最優秀賞**  
「桜咲く 鬼すむ誇り 希望の火」  
○小原裕美子さん(北鬼柳)

## 優秀賞

「ひたかみの未来へ続け 絆の火」  
○高橋穂子さん(和賀町煤孫)  
「復興へ輝やく未来へつなげよう 北上の火」  
○小原世津子さん(和賀町後藤)

## 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 北上市実行委員会にP R車両貸与

一般社団法人岩手県建設業協会北上支部(八重樫博之支部長)から、同実行委員会にいわて国体・いわて大会のP R車両が貸与され、納車式が1日、本庁舎で行われました。式では同協会の八重樫博之支部長から小原教育長に車両のキーが贈呈され、貸与車両がお披露目されました。

貸与車両はトヨタハイエース1台で貸与期間は8月1日から10月31日まで。車体には、同国体・大会P Rキャラクターの「わんこきょうだい」が



貸与車両の鍵を小原教育長(左)に贈呈する八重樫支部長(右)



セレモニーで受賞者に賞状が手渡されました

## 天皇陛下のお言葉



お見せになっておられたのだらう。先の戦争についての反省もご自身の強い意志で述べ、沖繩を始め、多くの戦争遺構を訪れ、慰霊されるお姿も象徴天皇としての務めとの信念が感じられ、いつも深い感銘を受けた。

先般、象徴天皇のあり方についての天皇陛下の10分余りに渡るビデオメッセージを拝聴した。平成の玉音放送とも言われた、このテレビ放送に多くの国民が注目した事は言うまでもない。陛下は10月の希望郷いわて国体にもお越しただく予定になっており、私としても沿岸被災地訪問など、タイトになるであろうスケジュールが少々気になっていったところであった。

お言葉の中で陛下は、象徴天皇としてのご自分の役割を常に国民と共にある事とされていた。だから雲仙普賢岳の噴火災害や東日本大震災、熊本地震などの際にも出来るだけ早く被災地に赴き、被災者と同じ目線で寄り添う姿勢を

改めて考えてみると、摂政などの代理では象徴天皇の務めを果たす事が難しい、と陛下は強く感じておられたのではないだろうか。だからこそ、ご高齢に加えて幾度かの手術を経たお身体にむち打ってご公務を続けておられたのだ。私たちは、これを機会に象徴天皇の意味を深く考え、陛下のお考えである、生前の皇位継承についてもしっかりと議論することが必要であろう。

希望郷いわて国体まであと一カ月余りとなった。当市の炬火名は「桜咲く 鬼すむ誇り 希望の火」に決定した。あとはお元氣なお姿の天皇皇后両陛下をお迎えできる事を心から願うばかりである。そして全国からお越しになる選手、役員など、多くの皆さんを10万市民と共に心から歓迎し、おもてなししたいものである。